

令和6年度（2024年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	学年	第3学年	類型	I型
単位数	2単位	教科書	Power On English Communication Ⅱ（東京書籍）				
補助教材							

学習目標	日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	Lesson 7	身の回りで使われている色の視覚的・心理的効果について、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	中間考査
	5月	Some Secrets about Colors		
	6月	Lesson 8	納豆パウダーが汚水を浄化する理由や、発展途上国の人々に与えている影響について、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	期末考査
	7月	Powdered Natto Solves a Global Water Problem		
2 学期	8月	Lesson 9	ベシー・コールマンの経歴、人物像、夢などについて、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	中間考査
	9月	Flying after Her Dreams		
	10月	Lesson 10	ロボットと仕事について、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	期末考査
	11月	To Work or Not to Work?: Humans and Robots		
12月	Optional Reading	内戦で故郷を奪われたシリアの人々について、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。		
3 学期	1月	文法のまとめ	完了形、文構造、助動詞、受け身、関係詞	学年末考査
	2月			
	3月			

学習の方法	音声にかかわる活動として、教科書テキストの音読とオーバーラッピングを行う。事前にテキストの読みの確認及び新出語彙と本文内容を予習し、授業での相互活動や理解度の確認に取り組める準備をしておく。また、リスニングやリーディング強化のための追加教材を使用する。それを含めてコミュニケーションの4技能向上に向けた学習を進める。
-------	--

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	場面や状況に応じた論理の構成や展開、情報や考えを効果的に伝えるための表現を理解している。また、その表現が使える。	日常的な話題について、情報や考えを活用し、要点や意図を明確にして自分自身の考えを適切に表現している。	①②の各項目に積極的に取り組むとともに、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。平常点は、授業での小テスト（パフォーマンステストを含む）、提出課題、授業態度等を考慮して評価する。		